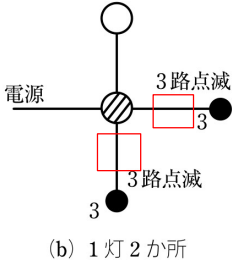
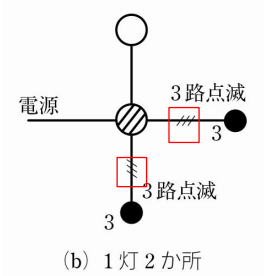
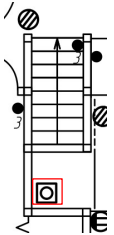
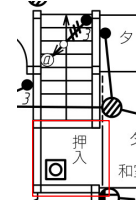
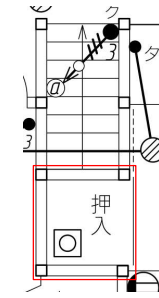
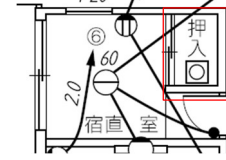
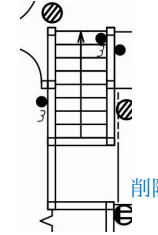
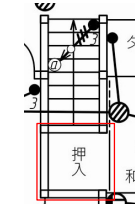
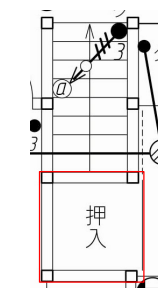
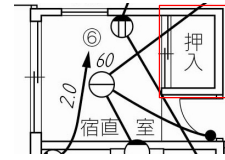
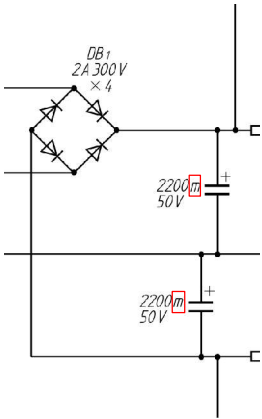
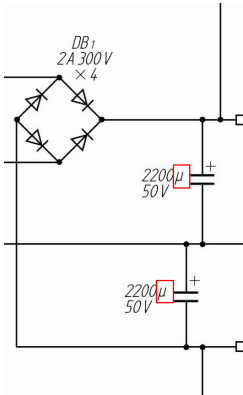


訂正箇所			原 文	訂正文																														
番号	ページ	行																																
1	83	5～7	では、回転軸と軸を支える部分の穴とのはめあいが必要である。<u>このはめあい部分の軸の直径が表 3-6 のように JIS で定められている。</u>軸の直径 14 mm 以下では、六角ボルトの径にほぼ等しく、表 3-6 のようになっている。 表3-6 表 3-6 ◆軸の直径 (JIS B 0901:1977 から作成) (単位 mm) <table><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>14</td></tr><tr><td>4.5</td><td>5.6</td><td>6.3</td><td>7.1</td><td></td><td></td><td></td><td>11.2</td><td>12.5</td><td></td></tr></table>	4	5	6	7	8	9	10	11	12	14	4.5	5.6	6.3	7.1				11.2	12.5		では、回転軸と軸を支える部分の穴とのはめあいが必要である。<u>一般に用いられる軸のはめあい部分の直径の寸法を、表3-6に示す。</u> 軸の直径 14 mm 以下では、六角ボルトの径にほぼ等しく、表 3-6 のようになっている。 表 3-6 ◆軸の直径 削除 (単位 mm) <table><tr><td>4□</td><td>5□</td><td>6□*</td><td>7□*</td><td>8□*</td><td>9□*</td><td>10□*</td><td>11*</td><td>12</td><td>14</td></tr></table> 備考 □ 印は、JIS B 1512-1（転がり軸受－主要寸法－第 1 部：ラジアル軸受）の軸受内径による。 * 印は、JIS B 0903(円筒軸端)の軸端のはめあい部の直径による。	4□	5□	6□*	7□*	8□*	9□*	10□*	11*	12	14
4	5	6	7	8	9	10	11	12	14																									
4.5	5.6	6.3	7.1				11.2	12.5																										
4□	5□	6□*	7□*	8□*	9□*	10□*	11*	12	14																									
2	110	14	<u>この直流安定化電源のプリント配線板作成手順</u>	プリント配線板作成手順 削除																														

工業 704 電子製図			図書の記号・番号	工業704
番号	訂正箇所		原 文	訂正文
	ページ	行		
3	156	20	線図を複線図に変換した図を示す。	線図を複線図に変換した図を示す。 挿入 複線図では電線数（条数）と同じ本数の 線を引いて接続を表すが、単線図では、<u>電線数を斜線の数で表してもよい（図 7-8(b))</u>。ただし、仕様書などにより電線数が明らかな場合は、<u>電線数を記入しなくてもよい。</u>
	158	23	図7-8 (b) 	 図 7-8～11

番号	訂正箇所 ページ 行	原 文	訂正文
4	158 図7-13 押入 図7-14 押入 折込 24 製図例 30右図 押入 折込 25 製図例 31左上 図 押入	   	   
5	173 21	<u>二次元</u> CAD	<u>三次元</u> CAD

番号	訂正箇所 ページ 行	原文	訂正文
6	186 図8-21		
187	手順④	④ 図記号の各値を入力する。	④ 図記号の各値を入力する。
	手順⑤	⑤ 部品のシンボル情報を追加する。	⑤ 部品のシンボル情報を追加する。

番号	訂正箇所		原 文	訂正文
	ページ	行		
7	折込 8	製図例 15-1 左側	 定電圧ダイオードは0.5W型。	 定電圧ダイオードは0.5W型。